



発行所

関西配管工事業協同組合
〒531-0071
大阪市北区中津1-2-19
新清風ビル7階
TEL(06)6371-5905 FAX(06)6371-9544

編集者

事業部・教育情報部
HP:<http://www.kankan-club.or.jp/>
E-mail:jimu@kankan-club.or.jp

発行日
平成26年1月31日

Vol.59



関 西 配 管 工 事 業 協 同 組 合 機 間 誌

もくじ



● 「新春を迎えて」斎藤昭一理事長	2
● 新年賀詞交歓会を開催	3
● 組合員・賛助会員懇談会開く	4
● 技能士検定実技講習を実施	5
● 受検対策実技講習を実施	6
● 4団体協議会を開催	7
● 大阪で日管連全国青年部会合同部会	8
● 斎藤理事長 功労者賞受賞	9
● 3団体懇談会を開催	10
● 配管技能コンテストに参画	11
● 新入組合員	11
● 理事会 議事要旨	11

新春を迎えて

苦難乗り越える意志と勇気と気概を



理事長 齊藤 昭一

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。

平素は、組合活動へのご協力に対し心より御礼申し上げますと共に、本年もご支援のほどお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、安倍内閣誕生後、まず「デフレを止めよ」の大目標のもと、異次元の金融緩和を始め、政治も経済も様変わりしました。円安と財政政策が重なって自動車や建設業界に仕事が増え始め、輸出企業が息を吹き返すことになりました。

景気回復は通常、大企業の製造業から始まりますが、今回は建設・不動産とツートップであり、建設分野はリフォームなどが特に活発で、われわれ中小企業も仕事の増加を感じられたのではないでしょうか。今年の4月以降の消費税引き上げの影響による駆け込み需要との見方もある一方、極端な景気ブレーキにはならないと見えています。感じ始めた変化を皆さんと共に実感できる一年になるよう期待しています。

そのためには景気の波に期待するだけではなく、われわれ業界関係者が一丸となり、何があろうとも、どんな障害があろうとも、それを乗り越えていくという強い意志、勇気、気概が必要ではないでしょうか。

閉塞感漂っていた経済環境の中、平成11年から当組合で業界の活性化と楽しく希望を持って働く環境を創ることを目指して行ってきた、1級技能士の教育・訓練の受講者数は現在463名を数え、全国の登録配管基幹技能者は2403名になりました。本年も教育・訓練を継続することはもちろん、積極的にPRすることで受講者数を増やし、日本の未来を担う技術者育成に取り組んでいきたいと考えています。

さらには技術の向上に加え、交流の場としても縦横の繋がりを強め、多くの人が集まり互いに刺激しあうことによって業界が活性化し、活気あふれる職場で皆さまが実力を存分に發揮することで、会社やご家族の方が安心で幸せあふれる毎日を過ごせる一年になることを祈願いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

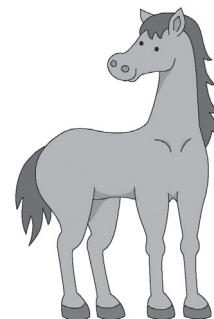
今年は「午年」。馬は昔から農耕や労役に貴重なものであつたことから多くの呼び名や想像上の馬があります。信仰や想像上の馬は龍馬（りゅうめ）、天馬（てんば）、神馬（しんめ）など。龍馬はとてつもなく足の早い馬で、天馬は天上界に住む最上の馬、地上では天子の乗る馬とされています。ギリシャ神話のペガサスは、翼があつて天空を自在に飛び回ることができます。神馬は文字通り神様の乗る馬で、現実世界では神社に奉納した馬のことをいいます。

生活に密着したものでは、飾り馬があります。新年の初荷の馬や祭礼の馬など美々しく飾り立てた馬で、京都賀茂祭で美しい唐鞍を置いた馬や5月の端午の節句に飾る馬などもいます。飾り馬は俳句の新年の季語で、「飾り馬 見劣る馬子も機嫌かな」（香歩）の句があります。

竹馬も子供の遊戯用として平安朝の昔からあつたとされます。葉のついた竹を切つて股の間に挟んで走り回って遊んだと伝えられています。その後、太い竹2本に足がかかりをつけた、今日行われているような竹馬になつたといいます。

竹馬も子供の遊戯用として平安朝の昔からあつたとされます。葉のついた竹を切つて股の間に挟んで走り回って遊んだと伝えられています。その後、太い竹2本に足がかかりをつけた、今日行われているような竹馬になつたといいます。

竹馬も子供の遊戯用として平安朝の昔からあつたとされます。葉のついた竹を切つて股の間に挟んで走り回って遊んだと伝えられています。その後、太い竹2本に足がかかりをつけた、今日行われているような竹馬になつたといいます。



「午年」アラカルト

新年賀詞交歓会を開催

—「午年」の躍進誓う—

組合の新年賀詞交歓会は1月22日午後5時30分から大阪市都島区の太閤園で開催し、賑やかに新年の挨拶を交わして2014年がスタートしました。

新年賀詞交歓会には関連団体や教育機関、組合顧問などからの来賓、組合員、賛助会員など合わせて54名が出席し、庄司真之副理事長の司会で進められました。

年頭挨拶に立った玉川義光副理事長は「組合法人化以来の20余年

と、大阪空気調和衛生工業協会の玖村信夫副会長が来賓を代表して挨拶。玖村氏は「設備業界は若年技能者の確保・育成が最大の課題となっており、関西配管工事業協同組合の技能向上に向けたご尽力

業団体中央会の川口輝彦労政調査部長の発声で乾杯したあと賑やかに交歓しました。

途中、来賓の教育機関の先生や組合顧問の方々が挨拶に立ち、教育関係者は設備分野の教育の



年頭挨拶を述べる玉川副理事長



玖村氏が来賓挨拶

を振り返ると、この間、組合の教育事業により多くの1級配管技能士を世に送り出した。また、登録配管基幹技能者は現在、全国で2403人を数え、当面の目標である3000人をできるだけ早く確保できるよう関係機関とともに努力している」と技能の育成に注力していることを強調し、一層の協力を訴えました。

さらに、「建設関連業界の深刻な人手不足に加え、消費税増税を控えて大いなる不安を抱えての新年の門出となったが、技能者が流した汗に見合う待遇が得られる業界づくりに向けてがんばっていこう」と呼びかけました。

来賓が1人ずつ紹介されたあ



川口氏の発声で乾杯

に敬意を表する」と述べる一方、同協会が全国の同業者団体で唯一実施している配管技能コンテストについて触れ、「コンテスト実施の際には、今日のご来賓である教育機関の方々とともに、組合の皆さんには参加者の応募や運営などで多大なご協力をいただいている。今後もより一層充実させていきたい」と感謝の言葉と合わせ協力を要望しました。大阪府中小企

取り組みや方針などを紹介し、期せずして、組合員との間で質疑応答による情報・意見交換が行われました。また、賛助会員も1社ずつ壇上で自社PRを展開しました。

最後に、山田誠香副理事長が「今年は午年。早い馬に乗って元気よく駆けぬいていこう」と閉会の辞を述べ、同氏の音頭で威勢よく一本締めを行って「午年」の躍進を誓いました。



威勢よい一本締めで躍進誓う



閉会の挨拶をする山田副理事長

組合員・賛助会員懇談会を開催

市場動向で情報交換

物件は増加傾向

第4回「組合員・賛助会員合同懇談会」を12月5日に当組合事務局近くの三栄ビル会議室で開催し、市場動向などについて情報・意見交換しました。

懇談会には組合員11社・12人、賛助会員8社・14人が出席。玉川義光副理事長が「建設業界は社会保険未加入問題など多くの課題を抱えており、国土交通省による保険加入対策の強力な指導、建設業界への賃金アップ要請などでこのところ大きく動いている。メーカー・流通の賛助会員の皆さんとわれわれ配管業者は線路の両レールであり、お互いに知恵を出し合って変化に対応したい」と挨拶し、庄司真之副理事長の司会で進められました。



が増え、「工賃も上がりつつある」と発注物件の増加により価格が上昇する気運にあるとする報告の一例で、「大型物件を受注したが、苦労した割には儲からなかった」「仕事は忙しくなり、実際に断った現場もある。ただ、単価は上がっていない」と価格面ではいぜん厳しい状況が続いているとの報告も出され、まだら模様の業況が明らかになりました。

また、「大手製造業が中国の生

り、鉄関連製品の価格引き上げは避けられない」「樹脂関係は第二弾の値上げがあるかも知れない」「バルブ製品は年明け早々から価格改定が実施される」などが報告されました。

こうした状況の中、配管資材の品不足を懸念する声が組合員側から出されました。「配管資材はモノ不足になるようなことは考えにくい」とする意見が大勢を占めました。ただ、配管



市場動向について、組合員側から「関東はオリンピック関連以外を後回しにするくらい仕事があふれている」と聞くが、関西も大型商業施設や病院など大きな物件が多い。この機に、低収益の仕事は受けないよう内容を吟味してやっている」「小規模でも数の多い物件のほうがいい。値段が合わないのでは断ったら、しばらくして値段が上がって依頼がきた」「改修工事



産拠点の縮小方針により、国内設備を増強する動きが散見され、今後に期待が持てる」「材料の高騰気配と消費増税を控えて繁忙状況が続くと思われる」など、当面は活況な現状を維持するとの見方が支配的でした。

一方、賛助会員からは、配管資材が徐々に高騰する状況が示されました。「高炉メーカーが減産して市場を引き締めにかかるてお

機械など装置関係は「メーカーは作り置きがあまりできないので、一部機種では納期遅れが発生するかもしれない」「刃物類は3月に近づくと一時的に注文が増え、納期遅れが少し懸念される」という見方が示されました。このほか、組合員側からメーカーサイドへ、現場のニーズに合った新しい配管機械の開発要望なども出されました。

手動ねじ切り実習と商品研修実施

レッキス／JFE継手の商品学ぶ



組合は、12月7日に大阪府東大阪市のレッキス工業本社工場で1級配管技能士検定に向けた実技講習と商品研修を実施しました。講習会には21名が出席し、今年度の技能士検定に備えて12月中旬開催の組合主催・受検事前講習（南大阪高等職業技術専門校）の予習を兼ね、手動ねじ切りを実習しました。また、レッキス工業とJFE継手の新商品の最新情報を学びました。

この講習会は毎回、レッキス工業の全面的なバックアップにより実施されており、今回で14回目。この日も土曜休業日にかかわらず同社幹部・技術スタッフが出勤して研修をサポートしてくれました。

冒頭、玉川義光副理事長（教育情報部会長）はレッキス側に感謝の言葉を述べるとともに、「配管技能者の最高資格である登録配管技能者をめざすためにも、まず1級配管技能士の資格を取ってほしい。業界にはようやく追い風が吹いてきつつあり、今後、皆さんの活躍する場は広がる。業界の将来を担う人に成長していただきたい」と激励しました。

講習では、技能検定に必須のパイプ「手動ねじ切り」に、レッキ



手動ねじ切りのコツを学ぶ

スの担当者からレクチャーを受けながら挑戦しました。また、同工場に隣接する「レッキスミュージアム」でパイプマシンをはじめ、各種配管機器の歴史を学びました。

このあと、JFE継手本社営業部の樽井章悟・プロジェクト営業室長が同社新商品を紹介しました。

この中で樽井氏は①住居内SP用ポリブデン管Eロックシステム②



レッキスミュージアム見学

樹脂管用ワンタッチ継手Jワングリップ③ステンレス配管用ワンタッチ継手サスロックプラス——の特徴などを詳しく説明しました。

また、レッキス工業からは、大谷和人氏が配水用ポリエチレン管用融着工具について説明し、大西規夫氏が普及拡大中の「転造ねじ」について紹介するとともに、加工実演を行いました。



JFE継手による講習



レッキスによる講習



転造ねじの加工実演

技能士受検対策講習を実施

1級技能士課題作品を制作

平成25年度の1級配管技能検定(25年1月)へ向け、組合では12月14日(土)と15日(日)の2日間にわたり、大阪府和泉市テクノステージの大坂府立南大阪高等職業技術専門校で受検対策実技講習を行いました。

講習はレッキス工業で実施した予備講習に続く本格的な実技講習で、当組合役員や熟練技能者が指導員となり、両日とも午前9時から午後5時まで昼食をはさんでびっしり行われました。24名の1級配管技能士の受検予定者が鋼管、塩ビ管、銅管の切断や管継手との接続など受検本番さながらの作業試験に取り組みました。

初日の午前中は、オリエンテーションに続き、澄川史朗講師による「材料取り・ペーパーテスト」の講習(座学)が行われ、最後に配管図から材料を拾い出して材料表を作成する練習問題試験が実施されました。

午後の実技講習では、まず玉川義光副理事長が受検に向けての心構えや実技の要項を説明しました。この中で玉川副理事長は、組合が独自に作成した「実技テキス



材料取りの座学講習

ト」に基づき、作業の細かいコツなどを交えて作業手順を説明しました。とくに今回は、課題作品についてその配管施工順序をモデル作品に図示し、その順序で制作するよう指導しました。

続いて、池成信夫指導員などが手動ねじ切りや溶接の模範実技をそれぞれ行いました。また、実技に入る前に、塩ビ管と銅管の切断の要項説明が行われ、それに基づいて各自が切断したサンプルを提

出させて指導しました。

引き続き、実技講習に移り、各指導員が受講者の間を細かく巡り、配管作業の指導に当たる中、受講者は切断、接合・接着、配管組立などで作業試験の課題作品づくりに取り組みました。

2日目は、午前中、前日の材料取り練習問題試験で及第点に達しない受講者は補講を受け、あとの人は前日の反省を交えて実技講習を受けました。午後は受検本番と同じ時間で課題作品づくりに挑戦しました。受講者は3時間30分かけての模擬検定作品の制作に懸命に取り組んで完成させ、指導員から寸法採点、水圧テストを受けて反省点を洗い出し、受検本番に備えました。



実技の作業要項の説明



ねじ切りの模範実技



溶接の模範実技



指導員のアドバイスを受けながら受検課題作品づくりに挑戦

4団体協議会を開催

「社保加入促進対策」で意見交換

当組合、近畿空調工事業協同組合（ダクト工事、理事長増田岳史氏）、近畿保温保冷工業協会（保温保冷工事、会長細見義征氏）と大阪空気調和衛生工業協会（大空衛＝サブコン団体、会長太田隆氏）で構成する4団体協議会の第13回目会合が8月5日、第14回会合が11月25日にそれぞれ大空衛事務局会議室で開かれ、「社会保険加入促進対策」などについて意見・情報交換しました。

13回会合では、保険加入促進対策の大府の対応について、平成25年11月に発注する全工事の案件ごとの入札参加資格に社会保険加入を設定していることが報告されました。また、26年度から全工事の全下請負者の社会保険加入状況を確認し未加入者は保険担当部局に通報する方針であることが明らかにされました。さらに、保険加

入促進に欠かすことができない「法定福利費を明記した見積書」については、国交省が各団体に対して法定福利費を明記した標準見積書の提出を求めており、近く各団体から一斉に提出されることが報告されました。

14回会合では、大空衛主催の配管技能コンテストについて、ダクト工事と保温保冷工事でも実施できるかどうか、大空衛側から両工事団体へ打診がありました。これに対し、ダクト団体側から、ダクト製作はほとんど工場で機械製作されており、現場でダクトを製作する機会がきわめて少ないため、高度な技能を持つ技能者が少ない——などの理由からコンテスト実施は困難であるとの意見が出されました。

保温保冷団体からは、1級技能士検定よりレベルを下げれば可能

かもしれないが、技能士そのものが少ないので、コンテストが実施できるとしても数年に一度くらいになる——などの意見が出されました。こうしたことから、ダクト、保



第13回会合

温保冷の技能コンテストの即実施は無理で、今後、両職種の技能士検定試験などを見ながら実施の可能性を模索していくこととした。

保険未加入者対策問題については、第13回会合以降の進展状況などで情報交換しました。この中では、大阪府の方針として「平成26年度に受付する（平成26年11月から）平成27・28年度競争入札参加資格審査申請（定期受付）から、申請に必要な資格として社会保険の加入を条件とする」ことが報告されました。また、一般情勢として、「平成26年4月から法定福利費を明記した見積書（標準見積書）を使うことになる」という見方が示されました。



第14回会合

大阪で第4回・全国青年部会合同部会開催

組合の上部団体・日本配管工業団体連合会傘下の各地区団体青年部会で組織する全国青年部会の合同部会が当組合青年部会（朝倉博昭部会長）の担当幹事により、10月25に大阪で開催されました。合同部会ではレッキス工業（社長宮川純一氏）の本社工場（大阪府東大阪市）を見学したほか、同所で意見交換会を開催して活発な意見・情報交換を行い、青年部会活動の活性化への方策を模索しました。

第4回目となった今回の合同部会は当組合青年部会が1年をかけて計画を練ってきたものです。折からの大型台風接近により、残念ながら北海道団体青年部会からの参加は見送られましたが、東北、関東、中部、中国、関西、九州の6団体青年部会からオブザーバーなども含め62名が参加しました。

正午過ぎに各地から新大阪駅に集合した一行は、1年ぶりの再会を喜び、そのままバスでレッキス工業・本社工場に向かいました。同社は1925年創業、65年設立の機械機器メーカーです。パイプマシン、各種切断機、融着機、銅管工



具、ダイヤモンド機械工具、環境機器などを製造販売しているほか、水処理事業、ホースアメニティ事業なども手がけています。配管工具機器のパイオニアとして業界をリードし、とくに、主力のパイプマシンについては独自開発の「転造ねじ方式」により、接続配管の強度を飛躍的に高め、配管施工業界に一大旋風を巻き起こしました。本社工場はそのパイプマシンの加工・製造を手がけており、青年部一行は2班に分かれて組立工程などの製造ラインをつぶさに見て回りました。また、創業以来の製品を展示した「レッキス・ミ

ュージアム」（工場に併設）を見学、同社係員の説明を交えて配管工具・機器の変遷を学習しました。

見学会終了後、同所食堂で質疑応答に移り、同社国内営業統括本部の花澤俊治部長などが近年の取り組みや全国各地のシェアなどについて説明しました。

引き続き、全国青年部会合同部会が開催され、山田栄二部会長（関東組合）が挨拶したあと、直前に開かれた臨時役員会で新役員が選任されたことが報告され、新部会長には当組合の朝倉青年部会長（朝倉設備）が就任しました。次いで、今回、会場を提供し、合同



レッキス工業の生産ライン見学





活発な意見交換が行われた



新部会長に選任された朝倉氏

部会をバックアップしていただきたいとレッキス工業から宮川社長が挨拶に立ち、「日頃から弊社製品をご愛顧いただき、誠に感謝しています。今後とも皆様に喜んでいただける商品の開発やサービスの提供に全力を尽くします」と述べました。

当組合青年部・玉川潤氏の司会のもと活発な意見交換が繰り広げられ、「魅力ある組合の未来像」をテーマに、構成員の減少傾向への対応や今後取り組むべき課題などを各グループに分かれてディスカッションしました。

この中では、「親会とのコミュニケーションをしっかりと図る」「情報交換の場をもっと増やす」「組合員以外でも青年部会に入会できる仕組みをつくり、積極的に

入会勧誘する」など積極的な意見が出されました。青年部会の魅力は、同世代の人との繋がりや同業他社との交流の中から各自が役立つ経営手段や取り組みなどを汲み取れることです。また、新技術や市場動向などの情報収集や新規顧客開拓の機会などのメリットもあります。今後、これらを念頭に置き、親会、青年部会が協力し合いながら勧誘活動に努力し、組織基盤を拡充しながら組合・業界の発展に力を注いでいくことを誓いました。

このあと一行はバスで大阪市内に向かい、日本庭園と由緒ある旧藤田男爵邸で知られる「太閤園」に夕刻到着、懇親会に臨みました。懇親会では、朝倉・新部会長が「関西の青年部会員、親組合などのご協力のもと、全国の皆様をお迎えして合同部会を開催することができました。情報化、高齢化が進む中でより一層青年部会の活動が期待されています。青年部会では会員の方々に最新技術や情報を伝えてそれらを共有し、それもとにした青年部会の活動が業界の活性化や地位向上のステップアップになることを切に願っています。



懇親会で青年部会の活躍を祈念

す」と決意を示しました。

懇親会には当組合の役員や今回お世話になったレッキス工業の方々にもご出席いただき、賑やかに交歓しながら親睦と交流を深めました。

齊藤理事長

職業能率開発協会から 功労者表彰

当組合の齊藤昭一理事長はこのほど、中央職業能力開発協会から功労者として表彰を受けました。

大阪府職業能力開発協会の推薦により、技能者の育成など職業能力開発の推進に尽力したことが認められたものです。表彰式は昨年11月19日に東京都港区の明治記念館で行われました。

第34回「3団体懇談会」開く

保険加入対策と若年技能者確保で意見交換

当組合、近畿保温保冷工業協会（保温保冷工事、会長細見義征氏）、近畿空調工事業協同組合（ダクト工事、理事長増田岳史氏）で構成する3団体懇談会は、11月28日午後3時から5時まで大阪市北区のグラン・アーモTAMAHIMEで第34回会合を開き、建設業の社会保険加入促進対策、若年技能者の確保対策について話し合いました。



懇談会には保温保冷団体から6人、ダクト団体から5人、当組合から7人の計18人が出席。開催当番幹事のダクト団体・増田理事長が「建設業の社会保険加入促進が徐々に進んでおり、われわれもこうした動きに機敏に対応していく」と挨拶したあと、同氏の司会で進められました。

建設業の保険未加入者をなくす取り組みは、今後、平成28年度末までほぼ5年をかけて未加入業者を建設現場から排除しようと国土交通省などの指導により建設業全体で取り組まれているものです。

意見交換では、「現在、発注者側から保険加入・未加入の別を書

くよう要請されている段階」との現状報告が示されました。しかし今後、3団体の上部団体などから法定福利費を明示した標準見積書が準備できれば未加入対策が急速に進展するかもしれないとの意見が多く



当組合出席者

であるとしながらも、高等学校やハローワークへのプレゼンテーションを強めて地道に取り組んでいくこととしました。「技能検定を高校生に見学してもらい、高度な技能をアピールすることで業界の認識を高めてはどうか」「ハローワークで募集したら応募者があった」「会社見学をした人は必ず応募に来た」——などの報告があり、多角的な視点で若年労働者の入職に取り込んでいくこととしました。

一方、「現場朝礼が朝7時半もあるって、これでは若者から背を向ける」「たまには、真夜中に現場に出てほしいなどの要請があり、若者が辞める原因にもなっている」など厳しい現状が報告され、「こうした問題には折を見て現場責任者に粘り強く訴えかけていくしかない」との意見が出ました。

発注者側へのこうした働きかけと平行して、「法定福利費をもらうと、自らもその現場には未加入業者は入れないという強い覚悟を取り組みをしなければならない」との意見が出されました。

若年労働者の確保育成、技能者の技能向上については、厳しい企業収益の中、きわめて困難な課題

受注動向についても情報・意見交換を図りました。この中では「年度内の仕事はあるが、それ以後は読めない」「近畿全体をみると、建設物件は次々出ているが、大阪地区はいまひとつ」といった見方が支配的でした。

大空衛主催 第5回配管コンテストに参画

8月24日に東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門校（テクノセンター東大阪）で開催された大阪空気調和衛生工業協会（会長太田隆氏）主催の第5回配管技能コンテストに当組合は選手を派遣するなどで参画しました。

コンテストはこれまでと同じく現場の第一線で活躍する配管技能者を「一般の部」、建築設備関連学科を履修中の高校生を「高校の

部」として実施されました。

今回は一般技能者24人、東住吉総合高校、布施工科高校、彦根工業高校から生徒19人の合わせて43人が参加。一般の部では1級配管技能士検定レベルの課題作品制作（制限時間3時間）に、高校生は同3級レベルの課題作品制作（2時間30分）に挑戦しました。

このうち、一般の部では生田一之氏（株）豊新設備が優勝しまし



理事会 議事要旨

【25年9月】

- ①国土交通省近畿地方整備局主催の「社会保険未加入対策等の推進に関する説明会」出席報告
- ②大空衛主催の第13回4団体協議会出席報告
- ③大空衛主催の第5回配管技能コンテスト結果報告
- ④日管連平成25年度第8回定期総会・理事会並びに日管連設立20周年祝賀会の出席報告
- ⑤組合員からの脱退申し出の件
- ⑥第16回管工機材・設備総合展小間割図と役員当番表の確認
- ⑦技術研修会開催要領作成の件

【25年10月】

- ①平成25年度「登録配管基幹技能者講習」案内書送付について
- ②第16回管工機材・設備総合展の終了報告

- ③平成25年度認定職業訓練配管科1級技能士コース終了報告
- ④日管連・第4回全国青年部会の参加申込者数の報告
- ⑤新規組合員の組合加入申し込み諾否の件
- ⑥平成25年度1級配管技能検定受検対策実技講習開催要領作成について
- ⑦第4回組合員・賛助会員合同懇談会開催要領作成について
- ⑧その他（3団体共催の「社会保険未加入対策説明会」開催について）

【25年11月】

- ①平成25年度上半期分組合会計収入支出状況報告
- ②国土交通省近畿地方整備局主催「第2回社会保険未加入対策推進近畿地方協議会」出席報告（平成25年10月22日大阪マーチャンダイズ・マートで開催）

た。準優勝は原田忠彦氏（東和管工株）、3位・中尾勝利氏（中尾設備）、4位・浅野清治氏（浅野設備）、5位・宮田雅公氏（株）ツカサとなりました。高校の部では、田中誠君（布施工科高校）が優勝し、清家優馬君（東住吉総合高校）が準優勝となりました。

新入組合員

共栄工業(株)

代表者 松下 和則氏
〒574-0044
大東市諸福6-11-013
Tel.072-874-7875
Fax.072-874-7773

(株)創 美

代表者 田中 和則氏
〒534-0022
大阪市都島区都島中通2-24-10
06-6927-6565
Fax.06-6927-6545

- ③第34回3団体懇談会への当組合からの提案事項の検討
- ④平成26年度認定職業訓練配管科1級技能士コース実施計画作成について
- ⑤平成26年新年賀詞交歓会開催要領作成について
- ⑥その他（3団体共催の社会保険未加入対策説明会の参加申込者数報告）（「おおさかものづくりコレクション2013」開催案内について）

【25年12月】

- ①第34回3団体懇談会出席報告
- ②大空衛主催の第14回4団体協議会出席報告
- ③日管連理事会出席報告
- ④第4回組合員・賛助会員合同懇談会運営順序の打ち合わせ
- ⑤その他（斎藤理事長・平成25年度中央職業能力開発協会会长表彰受賞報告）

事業主の皆さん、 労働保険に入つて いますか？

労働者を1人でも雇っている事業主は労働保険に加入する義務があります。労働保険とは「労災保険」と「雇用保険」を総称したも

ので、労働者を1人でも雇用されている事業主の方は、労働保険に必ず加入しなければなりません。

お問い合わせ先

- ◇労災保険制度については
労働基準監督署へ
- ◇雇用保険制度については
ハローワーク（公共職業安定所）へ

【労働保険事務委託団体・労働保険事務組合】

関西配管工事業協同組合

【労災保険・特別加入団体】

関西配管工事業協同組合・一人親方組合

AS 株式会社 アウス

スーパートラップ付目皿 ワンタッチ掃兼金具
(スーパー トラップ付き)

簡単に施工でき封水を確保
トラップ部が取り外し可能、メンテナンスも簡単

D-STD-PU 50・65・75・100mm

50mm 100mm

D-3CO-STD-PU 50・65・75・100mm

50mm

蓋は①ドライバー1本で
ワンタッチ取り外し、
装着は軽く押すだけ

総発売元
SHO-A 株式会社 昭栄

イクイップメントのサポート商社

本社 〒541-0059 大阪市中央区博労町2-3-1
☎(06)6262-5947

本店営業部 〒577-0815 東大阪市金物町6-10
☎(06)6725-9311 FAX(06)6725-9333

東京☎(042)487-6811 北関東☎(048)458-1234
大阪☎(06)6531-9601 金沢☎(076)291-9011
中國☎(086)246-2611 姫路☎(079)284-4101
四国☎(087)864-7351 松江☎(0852)26-1124
福岡☎(092)928-5001 北九州☎(093)951-7021
千葉☎(043)258-3811 大分☎(097)555-9840
山梨☎(055)279-5711 鹿児島☎(0995)62-3301

印管継手
給水・給湯・冷温水に!! 2つのSUS管用継手登場!

ワンタッチ式
SUSDAKE(サスダケ) **新製品!**

拡管式メカ継手
ZLOK
(ゼットロック)

印管継手
管端防食管継手 **PQWK**
日立カップリング継手 オメガシリーズ
日立密閉型膨張タンクシリーズ
ウォーターハンマ防止器

日立金属株式会社 関西支店

〒541-0041
大阪市中央区北浜3-5-29(日生淀屋橋ビル)
TEL:06-6203-9704 FAX:06-6202-0730
<http://www.hitachi-metals.co.jp> HITACHI